平成24年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年８月５日

上 場 会 社 名　　焼津水産化学工業株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　2812　　URL　http://www.yskf.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)山本　和広
問合せ先責任者　(役職名)経営統括本部 経理部長　　(氏名)原田　融　　(TEL)054(202)6044

四半期報告書提出予定日　　平成23年８月11日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第１四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第１四半期	5,264	△7.1	363	△15.7	394	△15.1	235	4.4
23年３月期第１四半期	5,667	－	431	11.1	464	7.5	225	△20.9

（注）　包括利益　　24年３月期第１四半期　　234百万円(48.1%)　　23年３月期第１四半期　　158百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第１四半期	16.73	－
23年３月期第１四半期	16.03	－

(注)23年３月期第１四半期の売上高対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第１四半期	21,464	17,411	81.1
23年３月期	20,801	17,345	83.4

（参考）　自己資本　　24年３月期第１四半期 17,411百万円　　23年３月期 17,345百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	－	10.00	－	12.00	22.00
24年３月期	－				
24年３月期(予想)		10.00	－	12.00	22.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	10,120	△10.5	575	3.4	615	8.6	355	23.8	25.27
通期	21,045	△5.7	1,270	18.0	1,345	18.7	740	233.0	52.67

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　ー社（　　）、除外　　ー社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　有
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は４ページ「２．サマリー情報（その他）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期１Ｑ	14,056,198株	23年３月期	14,056,198株
②　期末自己株式数	24年３月期１Ｑ	5,386株	23年３月期	5,339株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期１Ｑ	14,050,847株	23年３月期１Ｑ	14,050,920株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動の停滞や消費の自粛など国内景気に大きな影響が生じた後、足元では個人消費や設備投資が持ち直しつつあるものの、電力不足や原子力発電所事故の影響、不安定な世界情勢、原材料価格の上昇、円高の進行など先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、震災の影響による国内景気が停滞するなか、放射能汚染問題や低価格志向による価格競争の激化など、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループは３ヶ年中期経営計画『チャレンジ & グロース』（挑戦と成長）の中間期として機能食品の強化、海外事業の積極展開、国内市場の安定確保に取り組みました。具体的にはマーケティングを強化する中、調味料は得意とする水産系調味料のシェアアップに注力するとともに、独自の加工技術を取り入れた差別化製品を展開し、機能性食品素材は飲料や美容分野への配合提案を推進しました。機能食品は子会社のＵＭＩウェルネス㈱が「コラーゲンゼリー」を新発売し、基幹商品の育成を図りました。海外事業は国内の海外進出企業への営業を強化するなど多面的な対応を進めました。さらに新規取引先への営業を強化するとともに不採算製品の見直しも行いました。また、生産効率の改善や経費削減を徹底し、採算性の改善に取り組みました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、連結売上高52億64百万円(※)（前年同四半期比４億２百万円、7.1%減）となりました。利益面におきましては、製造経費や販売費及び一般管理費の削減に努力するものの原料費の上昇をカバー出来ず、連結営業利益３億63百万円（同67百万円、15.7%減）、連結経常利益３億94百万円（同70百万円、15.1%減）、連結四半期純利益２億35百万円（同９百万円、4.4%増）となりました。

（※）水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法（総額表示）を採用しておりましたが、当第1四半期より、売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しました。売上高の会計処理の変更に関しましては４ページ（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、当第1四半期の売上高を従来どおりの方法（総額表示）で算出した場合、３億94百万円増加し56億58百万円となります。

	純額表示による売上高			総額表示による売上高		
	当第１四半期連結累計期間	前第１四半期連結累計期間	前年同期比	当第１四半期連結累計期間	前第１四半期連結累計期間	前年同期比
連結売上高	5,264百万円	5,667百万円	△402百万円	5,658百万円	5,927百万円	△268百万円
うち水産物	710百万円	725百万円	△14百万円	1,104百万円	985百万円	119百万円

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（調味料）

調味料は、国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況の中にありますが、当社が得意とする水産系調味料のシェアアップに取り組み、液体調味料、粉体調味料とも上昇傾向にあります。

この結果、調味料の売上高は20億42百万円（前年同期比66百万円、3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は２億27百万円（同12百万円、5.7%増）となりました。

（機能食品）

機能食品は、前期に引き続き一部取引先向けの粉末製品の大幅な受注減や価格競争激化による厳しい環境下、医療栄養食（レトルト）の受注が伸長。N-アセチルグルコサミンやアンセリンを始めとする機能性食品素材は、飲料や美容分野への配合提案による新規顧客の獲得に取り組みました。

この結果、機能食品の売上高は20億27百万円（同４億49百万円、18.1%減）、セグメント利益（営業利益）は２億75百万円（同79百万円、22.3%減）となりました。

（水産物）

水産物は、主にカツオ・マグロ加工製品の製造販売でありますが、国内消費低迷に伴う販売部門の売上伸び悩みや鰹節原料の販売中止が影響し減収減益となりました。

この結果、水産物の売上高は７億10百万円（同14百万円、2.1％減）、セグメント利益（営業利益）は29百万円（同９百万円、24.6％減）となりました。

（その他）

その他は、各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売ですが、価格競争が厳しく売上高は４億83百万円（同４百万円、1.0％減）、セグメント利益（営業利益）は24百万円（同４百万円、16.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ６億62百万円増加し214億64百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が４億19百万円、受取手形及び売掛金が１億93百万円、たな卸資産が１億70百万円増加したことなどから８億３百万円増加の121億49百万円となりました。固定資産につきましては、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が1億22百万円減少するとともに、株価下落による投資有価証券の評価が22百万円減少したことなどから1億40百万円減少の93億14百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ５億97百万円増加し、40億53百万円となりました。

流動負債につきましては、買掛金が３億90百万円、利益計上に伴う未払法人税等が1億14百万円増加したことなどから７億15百万円増加の35億５百万円となりました。固定負債につきましては、長期未払金が１億５百万円減少したことなどから１億17百万円減少の５億47百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益２億35百万円から配当金１億68百万円支払後の利益剰余金が66百万円増加したことなどから、65百万円増加の174億11百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.1％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、平成23年５月13日に発表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（売上計上方法の変更）

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法（総額表示）によっておりましたが、当第１四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をより的確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高、売上原価はそれぞれ２億60百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

（試験研究費の計上方法の変更）

提出会社である焼津水産化学工業株式会社における商品開発センター・調味料開発部の試験研究費について、従来売上原価に計上する方法によっておりましたが、当第１四半期連結累計期間より販売費及び一般管理費に計上する方法に変更しております。

この変更は前連結会計年度中において、顧客ニーズに迅速に対応するために大幅な組織変更を実施し、研究開発本部を商品開発センターにしたことに伴い、より適切な期間損益計算を行うために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第１四半期連結累計期間の売上原価は26百万円減少し、販売費及び一般管理費は26百万円増加しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,530	3,767,511
受取手形及び売掛金	4,392,944	4,586,847
有価証券	176,934	160,204
商品及び製品	1,431,819	1,426,184
原材料及び貯蔵品	1,622,194	1,798,202
繰延税金資産	92,631	101,882
その他	292,364	313,152
貸倒引当金	△10,100	△4,100
流動資産合計	11,346,320	12,149,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,678,609	2,632,183
機械装置及び運搬具（純額）	1,456,918	1,386,104
土地	2,394,450	2,394,450
リース資産（純額）	50,106	55,619
建設仮勘定	18,165	15,160
その他（純額）	92,902	85,136
有形固定資産合計	6,691,151	6,568,654
無形固定資産	228,956	217,364
投資その他の資産		
投資有価証券	1,869,626	1,846,823
繰延税金資産	280,178	290,028
その他	419,550	425,743
貸倒引当金	△34,165	△34,165
投資その他の資産合計	2,535,189	2,528,429
固定資産合計	9,455,298	9,314,447
資産合計	20,801,618	21,464,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,883,176	2,273,364
短期借入金	20,495	70,587
1年内返済予定の長期借入金	140,000	140,000
リース債務	13,443	15,281
未払法人税等	58,698	172,964
未払消費税等	27,779	54,463
賞与引当金	153,075	289,040
役員賞与引当金	－	4,998
その他	494,042	485,085
流動負債合計	2,790,710	3,505,786
固定負債		
長期借入金	70,000	70,000
リース債務	46,711	50,229
繰延税金負債	22,450	21,884
退職給付引当金	376,202	360,772
長期未払金	139,296	34,015
その他	10,465	10,465
固定負債合計	665,126	547,368
負債合計	3,455,836	4,053,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	10,427,917	10,494,404
自己株式	△5,913	△5,948
株主資本合計	17,453,780	17,520,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,259	△65,526
為替換算調整勘定	△56,738	△43,528
その他の包括利益累計額合計	△107,998	△109,054
純資産合計	17,345,781	17,411,178
負債純資産合計	20,801,618	21,464,333

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	5,667,272	5,264,520
売上原価	4,272,028	4,002,918
売上総利益	1,395,243	1,261,602
販売費及び一般管理費	963,594	897,746
営業利益	431,649	363,856
営業外収益		
受取利息	2,119	900
受取配当金	24,089	23,695
受取賃貸料	4,841	4,488
その他	8,898	21,713
営業外収益合計	39,948	50,798
営業外費用		
支払利息	306	185
匿名組合投資損失	－	16,743
為替差損	5,103	1,937
その他	1,713	1,603
営業外費用合計	7,122	20,470
経常利益	464,475	394,183
特別利益		
固定資産売却益	－	238
特別利益合計	－	238
特別損失		
固定資産除却損	6,382	700
退職給付制度改定損	85,049	－
特別損失合計	91,432	700
税金等調整前四半期純利益	373,042	393,721
法人税等	147,863	158,623
少数株主損益調整前四半期純利益	225,179	235,097
四半期純利益	225,179	235,097

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	225,179	235,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,104	△14,266
為替換算調整勘定	10,143	13,210
その他の包括利益合計	△66,961	△1,056
四半期包括利益	158,218	234,041
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,218	234,041
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,976,471	2,476,784	725,531	5,178,787	488,485	5,667,272	―	5,667,272
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	4,866	5,005	3,632	13,504	41,426	54,930	(54,930)	―
計	1,981,337	2,481,789	729,164	5,192,291	529,912	5,722,203	(54,930)	5,667,272
セグメント利益	215,403	354,033	38,941	608,378	29,520	637,899	(206,249)	431,649

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額206,249千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,042,918	2,027,461	710,625	4,781,005	483,515	5,264,520	―	5,264,520
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	3,138	5,584	4,325	13,049	38,806	51,855	(51,855)	―
計	2,046,057	2,033,045	714,951	4,794,054	522,321	5,316,376	(51,855)	5,264,520
セグメント利益	227,670	275,002	29,354	532,028	24,668	556,696	(192,840)	363,856

(注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額192,840千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（売上計上方法の変更）

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法（総額表示）によっておりましたが、当第１四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をより的確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については遡及適用を行い、この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の水産物の売上高は260,010千円減少しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。